



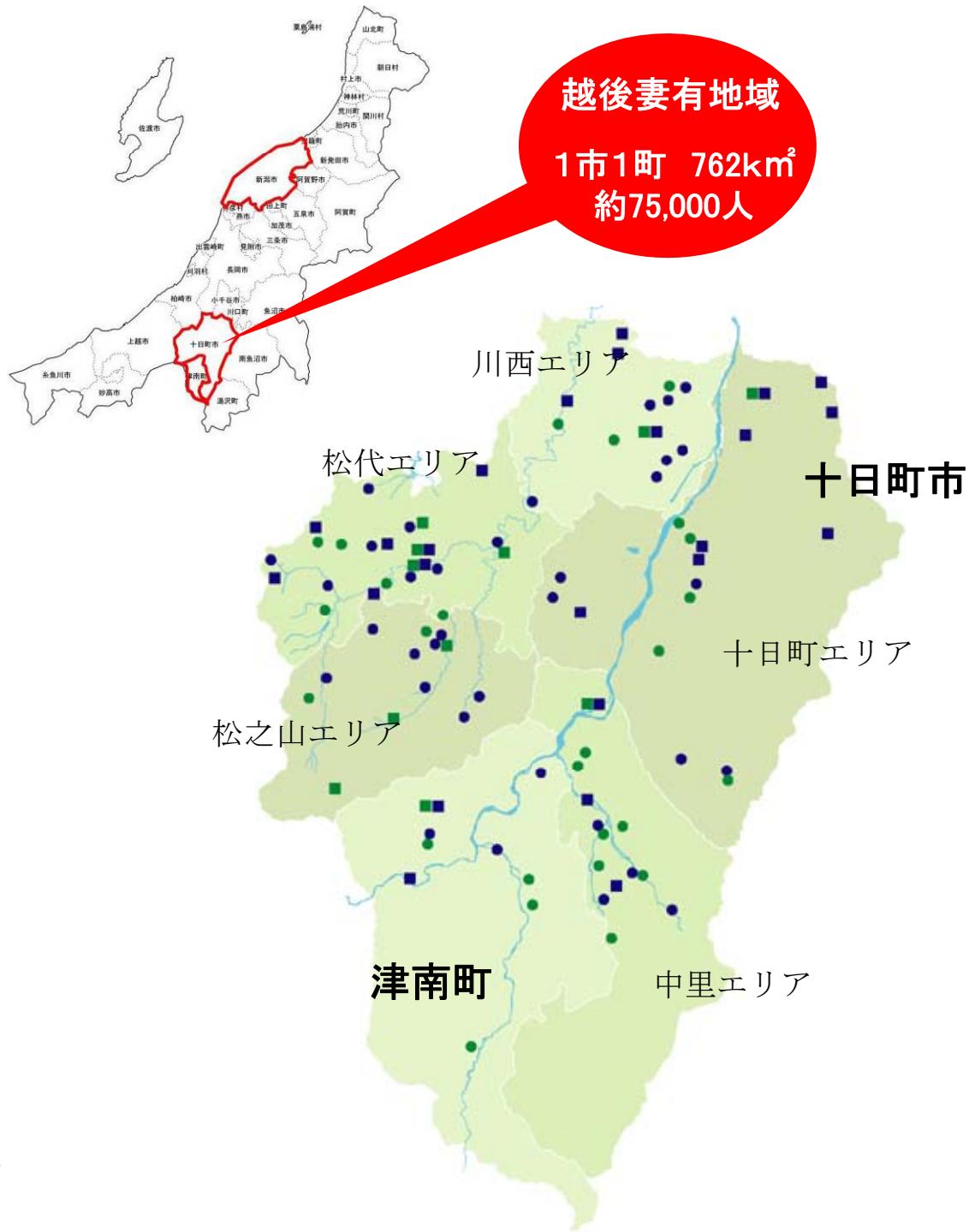
ART FRONT GALLERY

文化庁懇談会（第3回）

2008.2.25

北川 フラム

越後妻有アートトリエンナーレ



越後妻有アートトリエンナーレ



ART FRONT GALLERY



- ・裏日本
- ・世界一の豪雪地帯
- ・フォッサマグナの東端
- ・厳しい農業地（棚田・瀬替え）
- ・都市へのエネルギー供給（原発、JR発電所）

10年間の人口推移

| | |
|-------|---------------------------|
| 1955年 | 122,761人 (65歳以上の人口% 6.5%) |
| 2005年 | 73,777人 (同上 30.5%) |



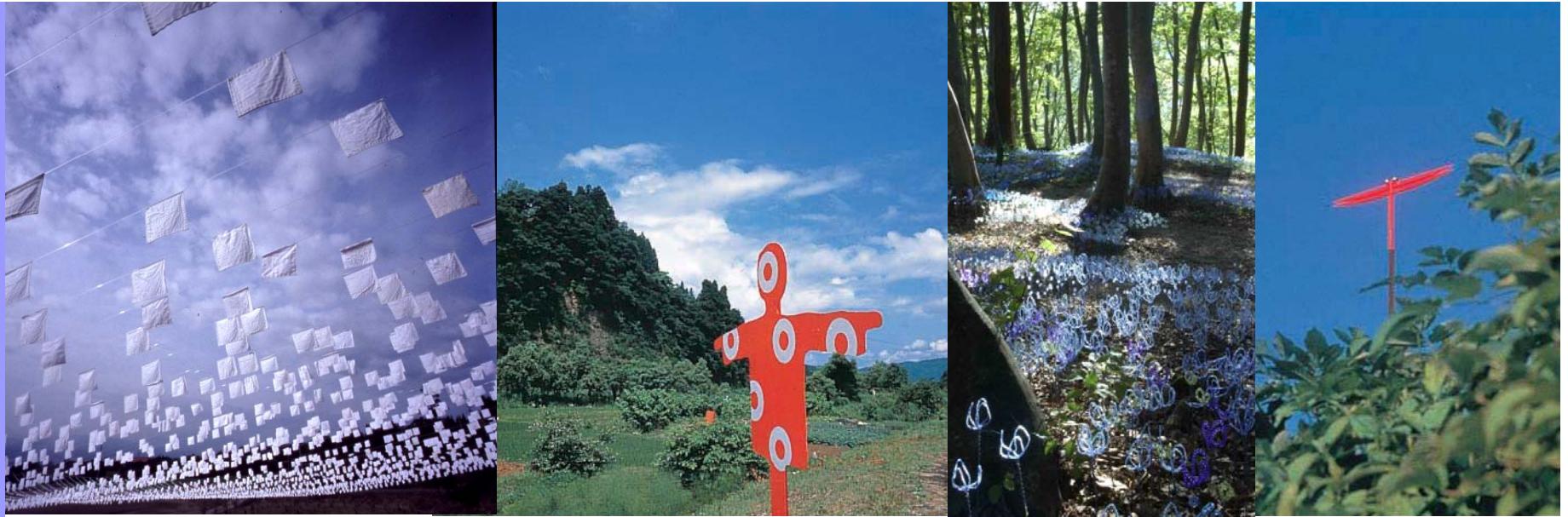
【地域・ジャンル・世代を超えた協働】

| | 参加作家 | サボ°タ-登録者数 |
|-----|-------------|-----------|
| 第1回 | 32カ国136組 | 約800人 |
| 第2回 | 23カ国157組 | 約770人 |
| 第3回 | 40の国と地域225組 | 約930人 |

| | | |
|------|------------|-------|
| 来場者数 | 第1回（2000年） | 約16万人 |
| | 第2回（2003年） | 約20万人 |
| | 第3回（2006年） | 約35万人 |



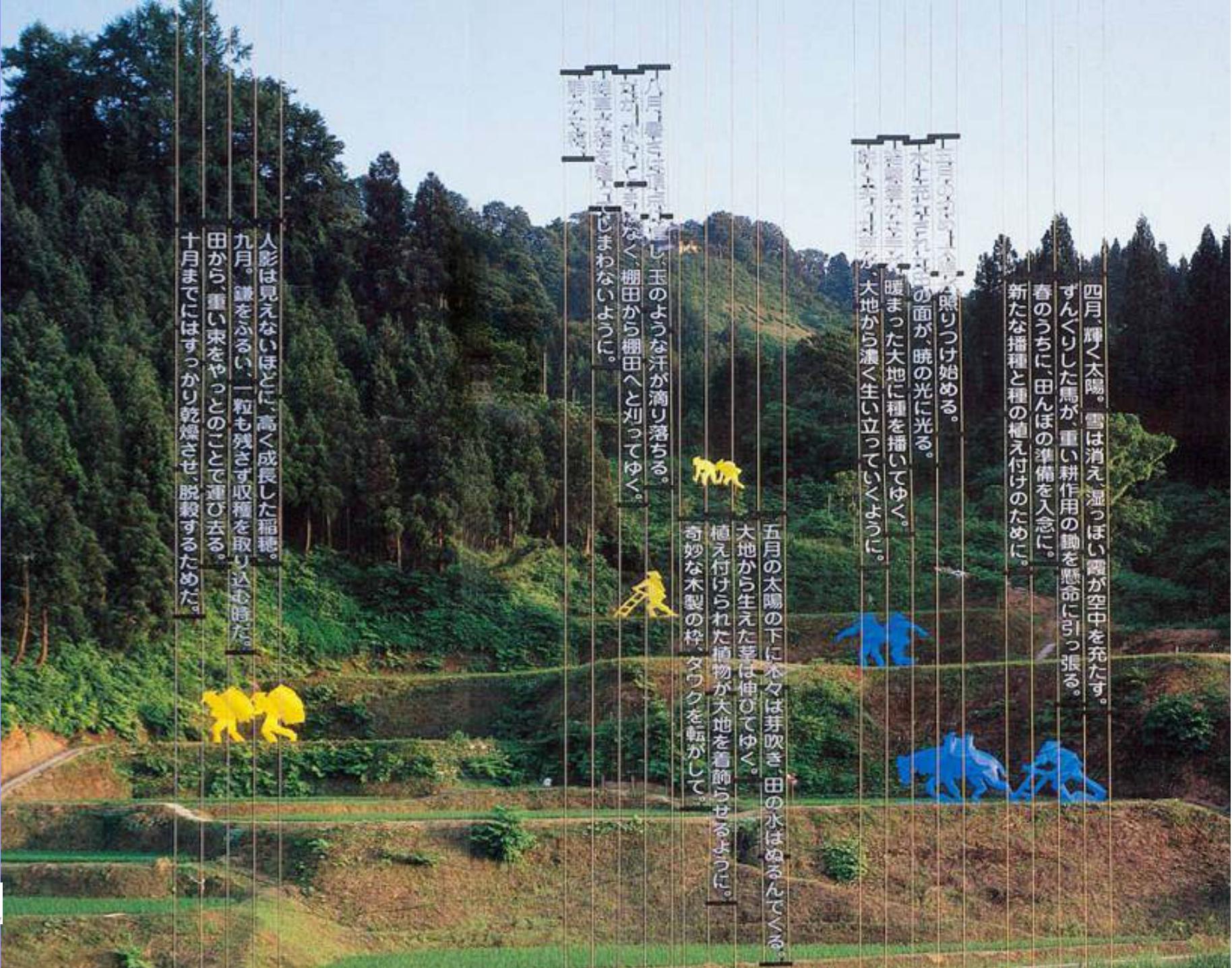
越後妻有アートトリエンナーレ



越後妻有アートトリエンナーレ



ART FRONT GALLERY

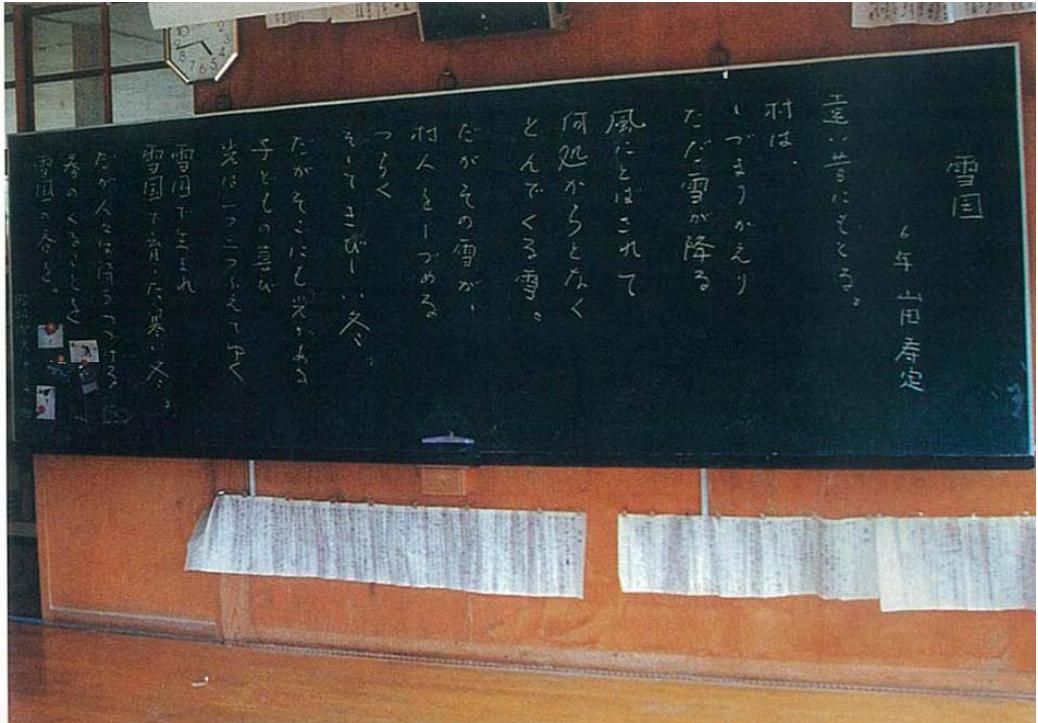


人影は見えないほどに、高く成長した稲穂。
九月。鎌をふるい、一粒も残さず収穫を取り込む時だ。
田から、重い束をやつとのことで運び去る。
十月までにはすっかり乾燥させ、脱穀するためだ。

三月の太陽。朝日が照りつけ始める。
木と土と草の面が、暁の光に光る。
暖まつた大地に種を播いてゆく。
ヨードーが、大地から濃く生い立つていくように。

五月の太陽の下に本々は芽吹き、田の水はぬるんでくる。
大地から生えた茎は伸びてゆく。
植え付けられた植物が大地を着飾らせるよつに。
奇妙な木製の枠、タワクを転がして。
八月。暑さで汗をかく。玉のよう汗が滴り落ちる。
汗を拭いてしまうとまた、棚田から棚田へと刈つてゆく。
腰が痛くなる。じまわないように。

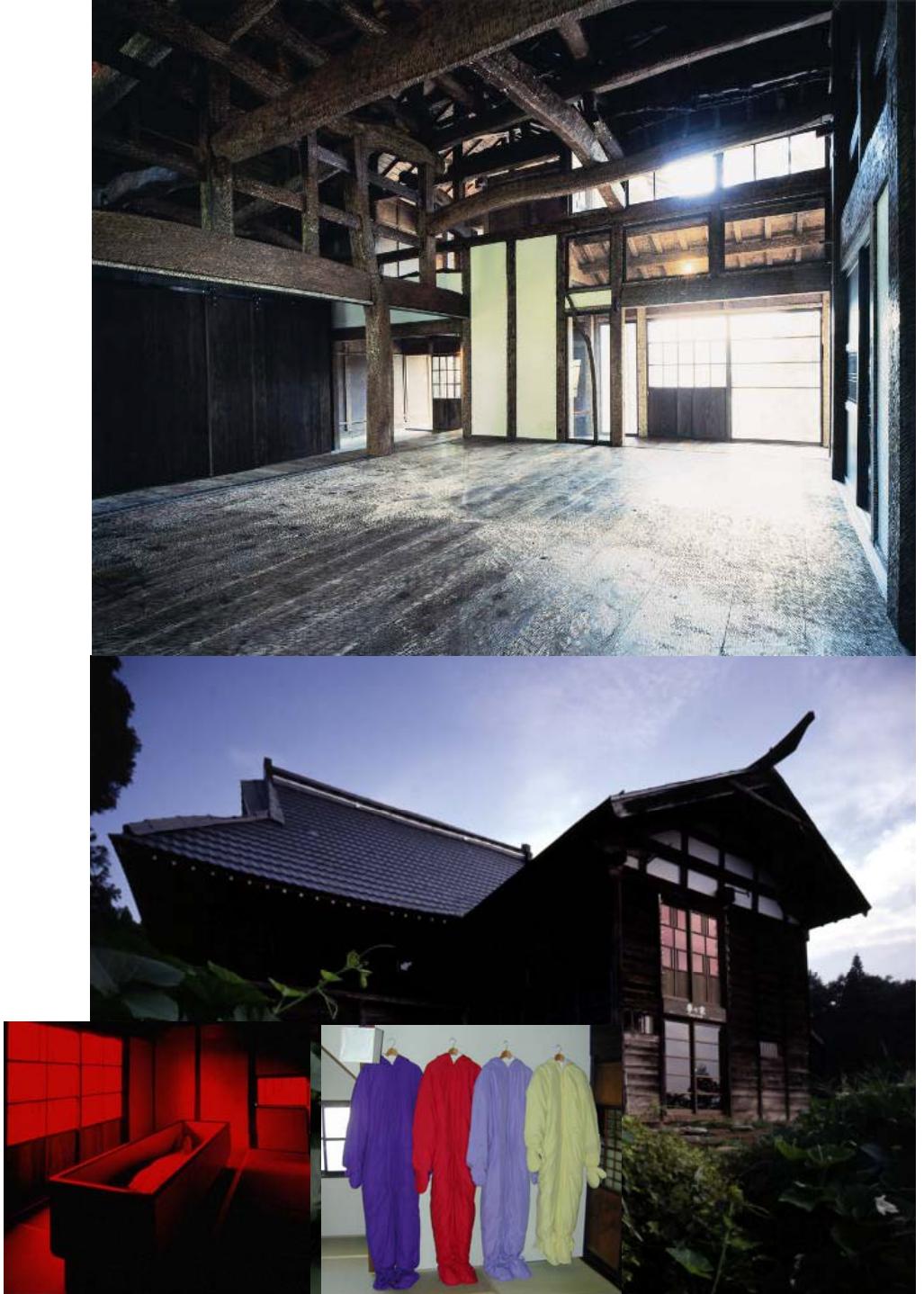
越後妻有アートトリエンナーレ



越後妻有アートトリエンナーレ



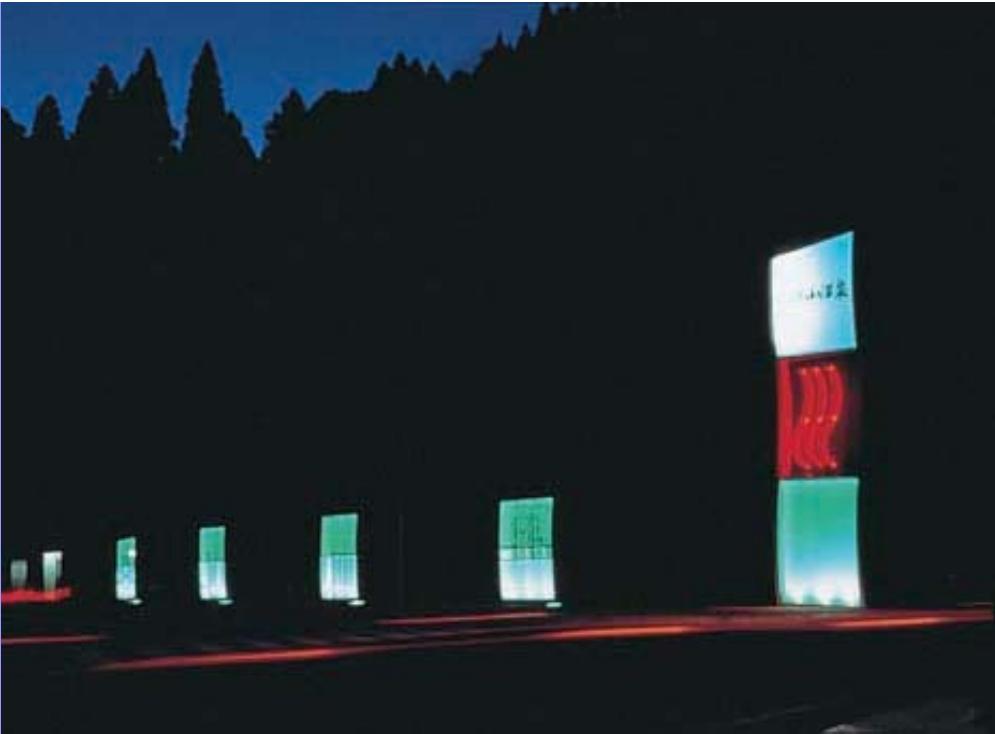
越後妻有アートトリエンナーレ



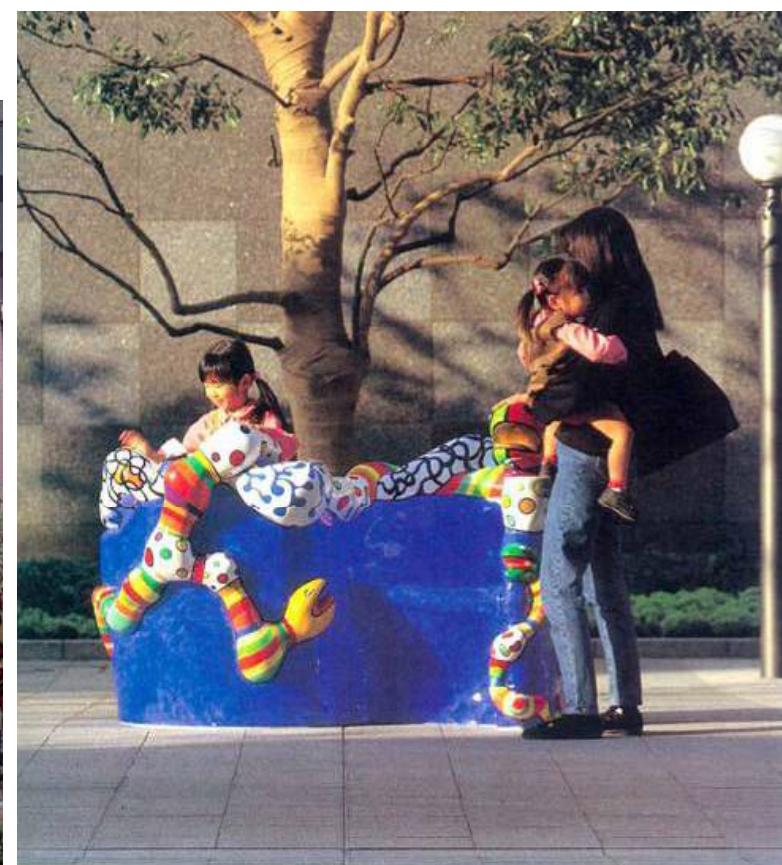
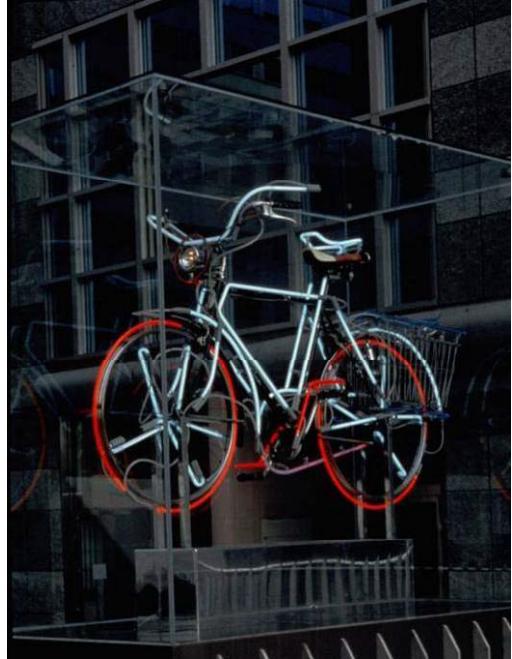
越後妻有アートトリエンナーレ



越後妻有アートトリエンナーレ



ファーレ立川【機能のアート化】



アントニオ・ガウディイ展



スペインの生んだ、奇跡の建築家。

●長野記念撮影 50余点 ●神秘的作品に魅了される ●未知なる開拓への抱負 ●市井の人住み家 ●自然への賛美、象徴的な表現 ●未来次元に達する魔性 ●現代藝術、建築、デザインの根源

映画 PM6:30 アントニオ・ガウディーの作品
制作・撮影・ナレーター 粟津潔 音楽 高橋悠治
講義 PM7:30 栗津潔 萩原 広司 高橋悠治 北川フラン

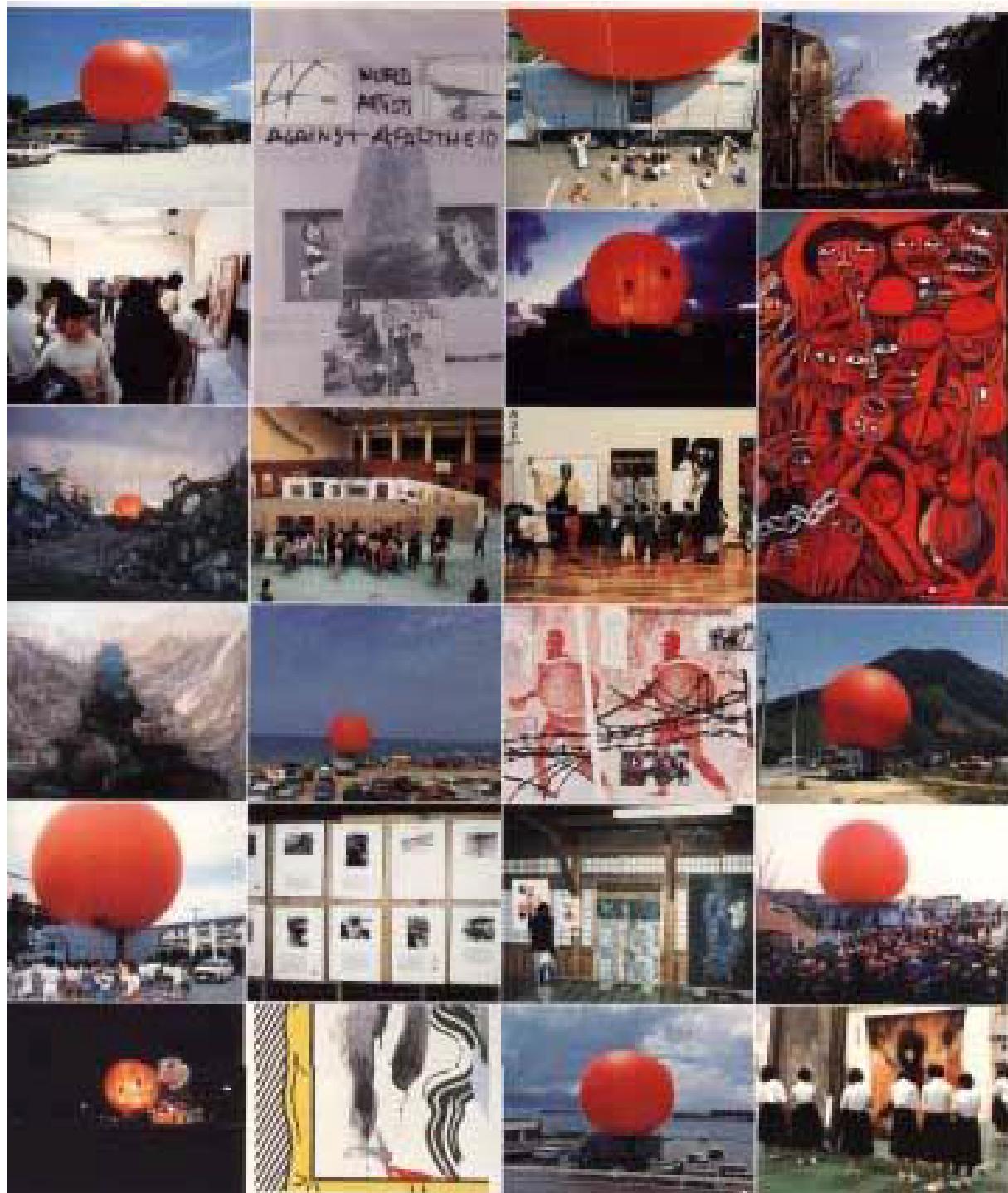
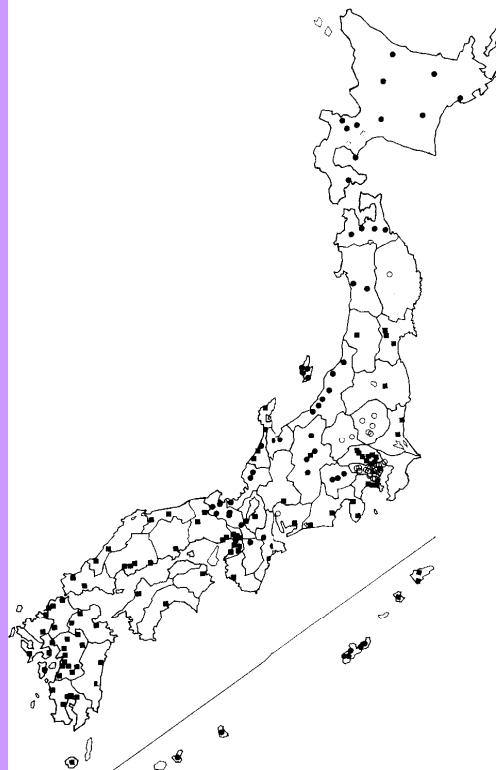
主催 長野ガウディー展示実行委員会
後援 スペイン大使館 長野県、長野県教育委員会
信濃毎日新聞社、信越放送、長野放送、長野県建築士会
協賛 ながの東急デパート
会場 ながの東急デパート (7階催し会場)
入場料 一般 500円 中・高校生 300円

Gaudí
映画と講義 2月3日(土)

1978-1979年東京展+全国13会場巡回

アパートヘイト否！国際美術展

1988-1990年
全国194箇所巡回



瀬戸内【直島】

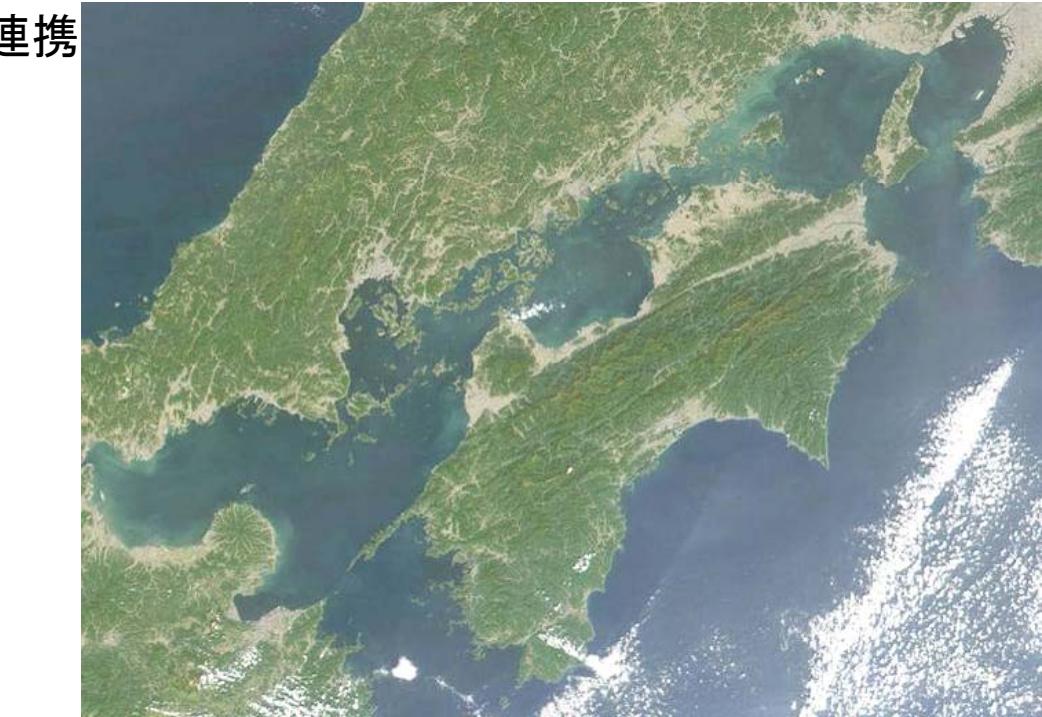


1992年 ベネッセアートサイトオープン
2004年 地中美術館オープン

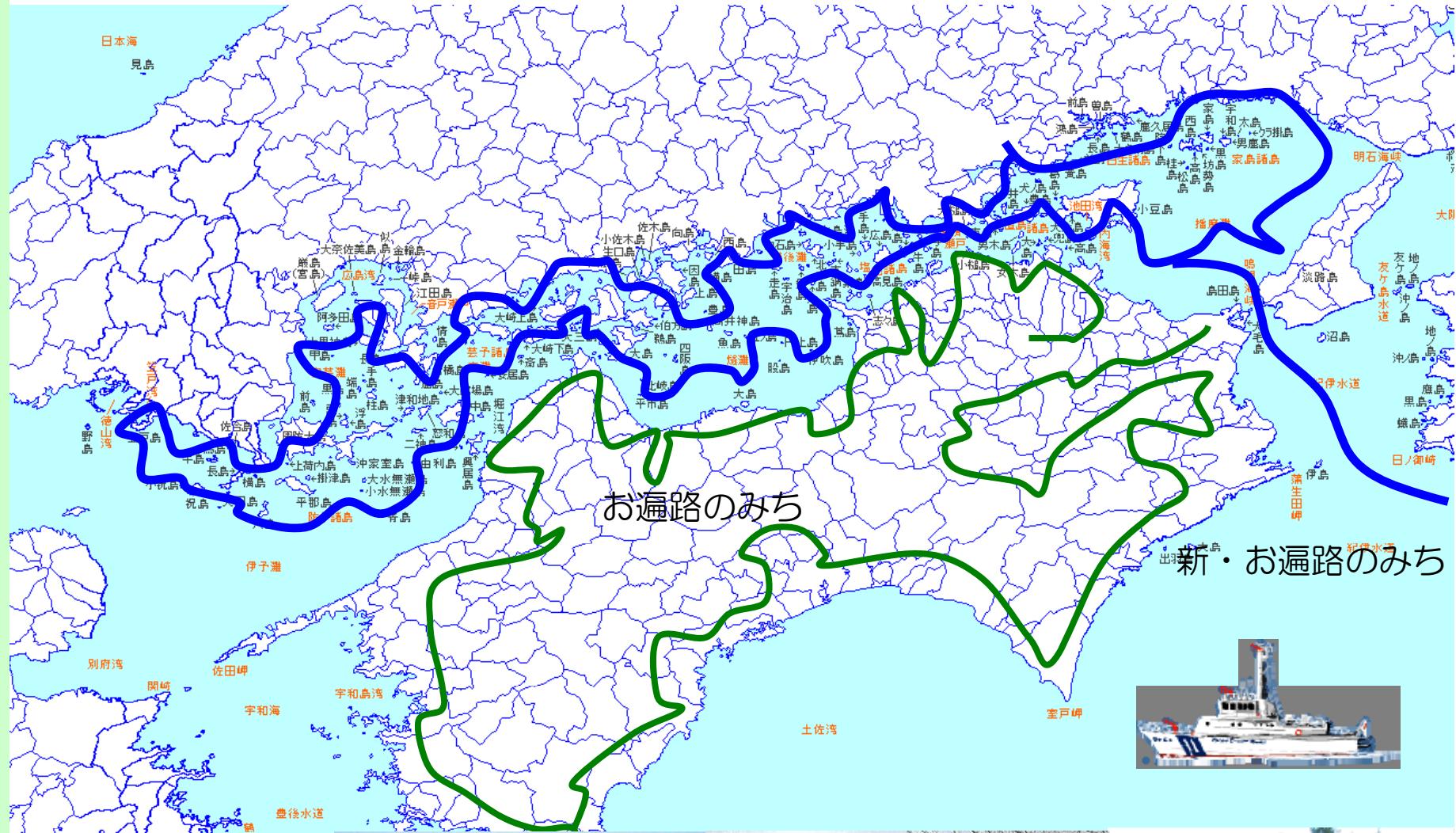


島・生活・アート

- ◆ 各島にテーマを掲げる（民俗・生活・歴史・自然）
世界に対する明確なメッセージを島ごとに掘り下げる
- ◆ アートでテーマを見せる
島固有の豊かな自然・植生や風習を活かしたアート
- ◇ 世界の観知
香川大学、岡山大学等との連携
- ◇ 美術館・博物館連携
イサムノグチ庭園美術館
猪熊弦一郎美術館
金毘羅宮文化ゾーン
大原美術館
平和記念館等

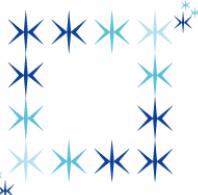


瀬内国際芸術祭(仮称)



「水都大阪2009」

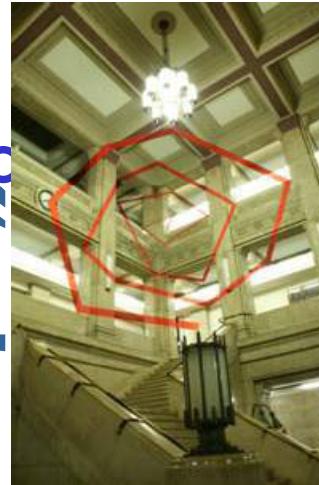
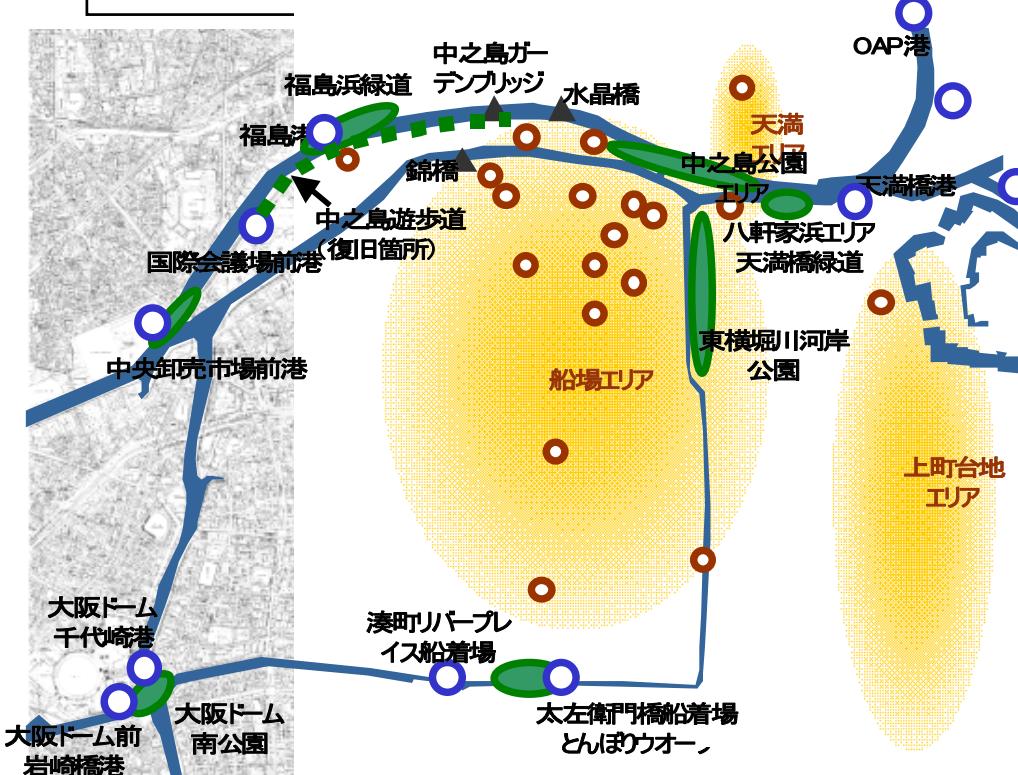
2009年8月22日（土）～10月12日（月・祝） [52日間]



水都大阪2009
AQUA METROPOLIS OSAKA 2009

テーマ

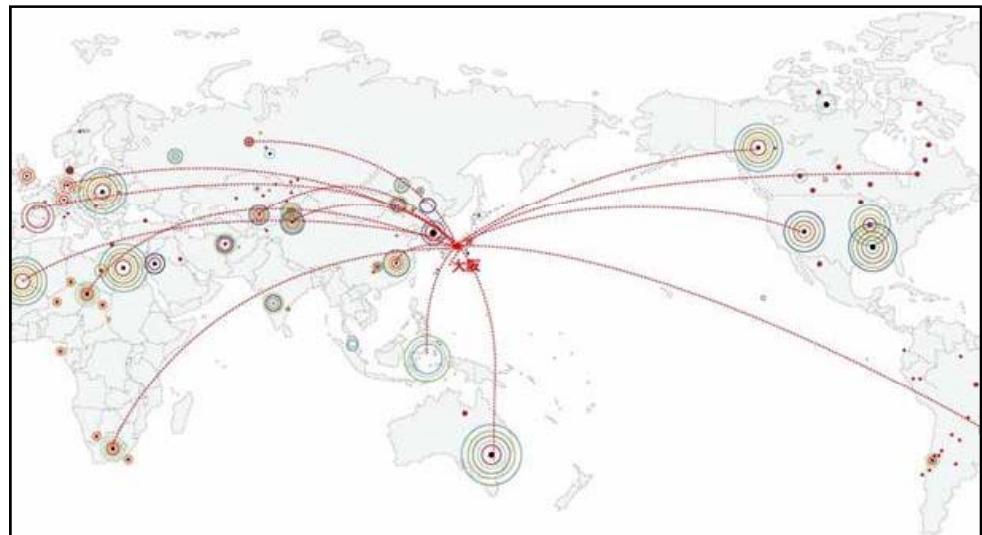
『川と生きる都市・大阪』



アーティスツ・ミート・大阪 「世界青年文化フォーラム」

- 21世紀に相応しい大阪の次代を担うネットワークの構築
- 世界の若者が共に学び、意見交換する場
- サポーターの交流の場
- アート工房

日本の各大学、ボザール、上海大学、香港大学等、
アジアを中心に世界各地の大学、機関が大阪に集結



アジア・ヨーロッパ 建築の新潮流

2001年～隔年
東京及びヨーロッパ・アジア巡回



これまでの開催地

東京、パトラス、ルクセンブルグ、メルボルン、パース、上海、リール、香港、コーク、安養、ゲント、サラマンカ、ルー、里斯ボン、マドリッド、ポルト、ロッテルダム



日本／2007



ルセロナ／2007



オーストラリア／2007



香港／2005



土と水の芸術祭

- 期間：2009年7月～2010年2月（8ヶ月間）
- 新潟に全国的な注目が集まる2009年に、水と土をテーマとした芸術祭を行い、「文化創造都市づくり」の先導的プロジェクトとする。
- 主な事業（案）
 - ・水と土の展覧会
 - ・アートプロジェクト
 - ・生活プロジェクト（仮称）
 - ・伝統芸能プロジェクト（仮称）
 - ・イベントプロジェクト

水・土についての ー 展示のイメージ



栗田宏一 (2006)

磯辺行久 (上 2000)
(下 2003)



